


所在地:	京都府福知山市長田野町2丁目17-1				
敷地面積:	34672m ²	延床面積:	33041m ²		
設立:	1947年12月	従業員数:	180名		
ISO14001取得:	1996年9月	ISO14001最新更新:	2008年9月		
主要製品:	キセノンチューブ、自動車球、ハロゲンランプ				
環境コミュニケーション: 10年度					
情報開示:		工場見学:		地域貢献活動:	24件
問合せ:	人事・総務部 施設環境T			TEL:	0773-20-5705

ごあいさつ

パナソニックフォト・ライティングは、『地球環境との共存』という基本的な考え方のもと、パナソニックグループの経営理念、及び環境方針に基づき「自然環境の保全と環境にやさしい企業活動」を経営の最重要課題の一つと捉え、人と地球にやさしい商品開発に取り組むと同時に、自然や地域社会と共存する工場づくりを推進しています。より良い環境社会を実現するために、これからも社会貢献活動を積極的に進めてまいります。



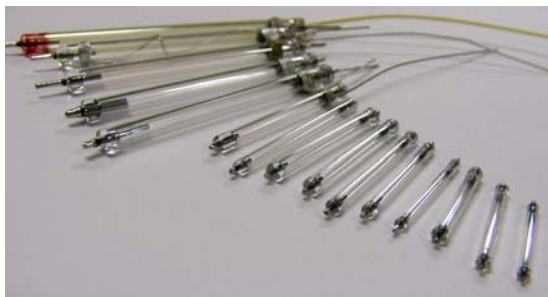
環境責任者

岡田 尚典

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
国内環境活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・EMSの維持向上 ・長田野工場 CF認定の更新
省エネルギー対策推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率トランスへの切替 ・コンプレッサー圧力の低圧化
地域環境活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大江町「毛原の森」森林保全活動の推進 ・長田野工場 工業団地内のクリーン活動

製品・環境配慮ポイントの紹介



キセノンチューブ

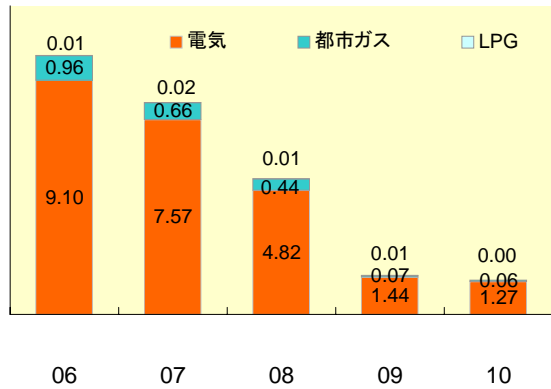
携帯電話搭載ストロボ、DSC搭載ストロボの照明用光源として用いられている。

製品の環境配慮ポイント

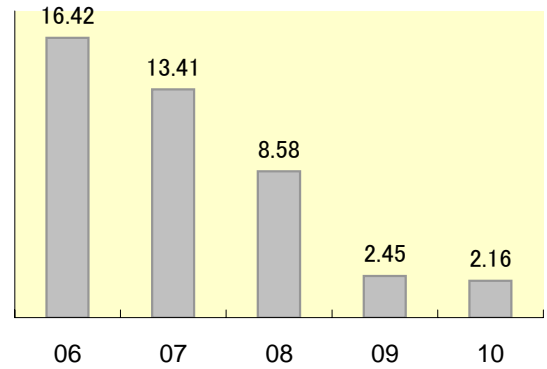
製ガラス管内面には石英ガラス同質の保護膜を形成させ、寿命耐久性を確保、また寿命耐久性向上による小型化の実現、さらに外径の細管化によるストロボユニットとの組み合わせにより高効率を実現しています。

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 010: 20010年4月1日～2011年3月31日

エネルギー使用量 単位:千kl



CO2排出量 単位:千t



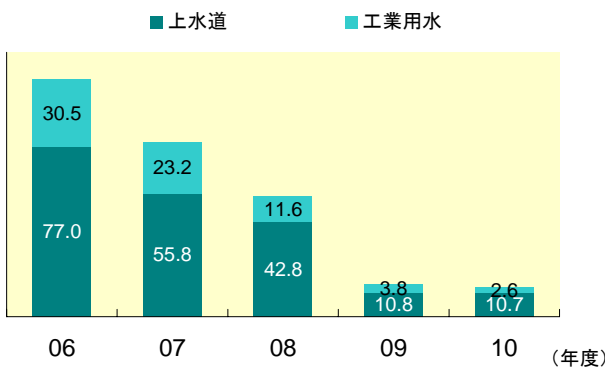
自然エネルギー使用量 10年度 (年度)

0.00 千kW/h

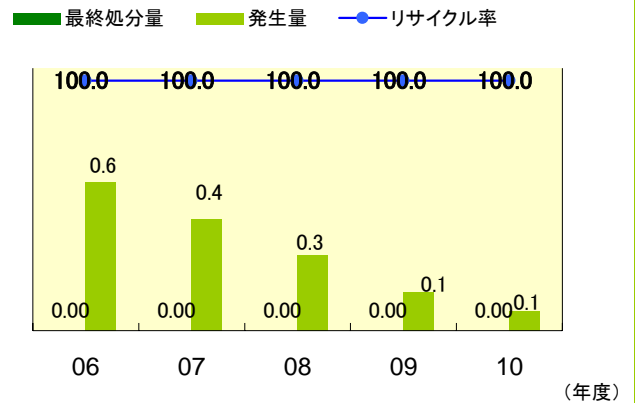
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出源単位」を使用して計算。但し、エコイデア宣言との整合性を保つため、2006年度は0.425kgCO2/kWh、2007年以降は0.410kgCO2/Kwhを固定して使用。

水の使用量 単位:千m³

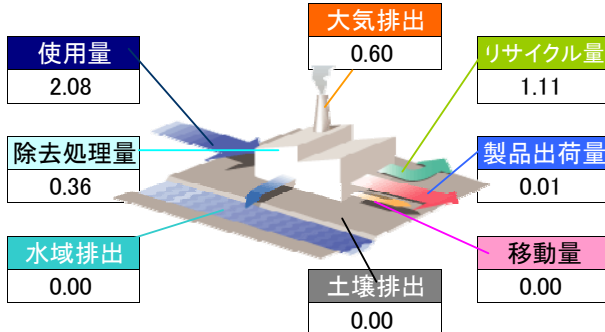


産業廃棄物・有価発生物 単位:千t、%

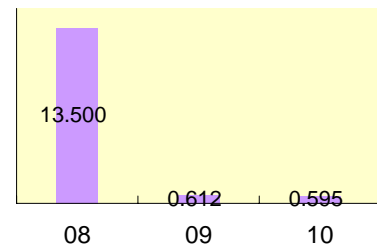


化学物質

マテリアルバランス



重点削減物質 排出・移動量



パナソニックグループの工場化学物質管理について

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境パフォーマンスデータの特記事項

受電電圧を33kvから6.6KVに変更し受電における損失を低減し、高効率トランスへの切替実施とコンプレッサー使用圧力の低圧化によりエネルギー使用量を削減
また、使用スペースの集約によりエネルギー使用量と水の使用量を削減

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h						
NOx	ppm						
ばいじん	g/Nm ³						

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	最終工場排水	300.00	90.00	4.38	9.50	1回/月
BOD	mg/l	最終工場排水	300.00	90.00	2.0未満	2.0未満	1回/年
窒素	mg/l						
リン	mg/l						

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 6ヶ所	70.00	60.00	48.45	51.70	2回/年
		夜	55.00	55.00	45.56	50.70	2回/年
振動	dB	昼					
		夜					

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

超過はありませんでした。

環境方針

パナソニック(株) ライティングドメインは、地球環境保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、経営と環境との共存をベースに『環境によりやさしい企業活動を行う』ことを基本理念とする。

当社は、管球製品、光源デバイス製品、写真映像製品の開発・製造・販売が活動の主体であることを踏まえ、以下の具体的な環境方針に基づき環境管理活動を推進し、地球環境との調和を目指す。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境側面を認識し、環境汚染予防に努めると共に、ISO 14001規格に準拠した環境マネジメントシステムの運用により継続的な改善を図る。
2. 環境に関連する法令、条例、及び同意したその他要求事項を順守する。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境側面のうち、次の事項を環境管理重点テーマとする。

(1) 環境配慮型製品で人々の暮らしを変えるため、以下の取組みを推進する。

- ・ CO2排出抑制に貢献する省エネ型商品の開発
(LED商品、白熱電球代替商品)
- ・ 再生資源活用、リサイクル性向上等の高循環型商品設計

(2) グリーンファクトリーの実現を目指して以下の取組みを推進する。

- ・ 全てのビジネスプロセスを通じたCO2排出抑制への貢献
(メタゲジ化によるCO2排出の見える化、LED商品を中心とした組立て系モノづくりへのシフト、グリーン

物流)

- ・ 廃棄物削減、リサイクル率向上等の循環型モノづくり
(再発防止の徹底による製造ロス削減、海外も含めたリサイクル率向上)
- ・ 化学物質の管理強化
(適正管理の推進、トルエンの代替化)
- ・ 水の有効利用
(使用量の見える化の推進)

(3) 地域活動への積極的な参加等、地球を愛する市民活動を展開する。

(環境ボランティア、環境家計簿)

4. 環境管理活動の推進にあたり、環境目的及び環境目標を設定し、実施計画に沿った活動を展開すると共に、定期的な見直しを行う。
5. この方針は、当社の組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知すると共に、一般の人々にも開示する。

環境負荷削減の取り組み事例



トランスの統廃合(1号棟キュービクル廃止)

低効率のトランスを廃止して高効率トランスからの送電に切替えて損失の減少を図る。

3Φ3W 75KVA 1台 1Φ3W 50KVA 1台 廃止

CO2の削減効果 8.0t/年CO2



コンプレッサー圧力の低圧化(高圧エア原動供給圧力を、0.1mpa削減)

高圧エア原動供給圧力を削減しコンプレッサ軸稼働電力削減を図る

CO2の削減効果 13.0t/年CO2

環境コミュニケーション事例



大江町「毛原の森」森林保全活動

京都モデルフォレスト協会の呼び掛けによる活動として2007年7月19日に森林の利用保全活動に関する協定締結式を行い、2008年8月には間伐材を使った作業小屋が完成。毎月、第二土曜日に定期活動として社員に呼び掛けて「つつじの森」を蘇らす活動を実施。京都府、福知山環境会議、MGV等の指導を受けて、エスペック(株)、地元等の協働で里山保全活動を計画し、里山を守り育てる活動を推進している。

2010年度は、つつじ植樹のための整備を中心に活動を実施。



LE&MGV活動

森林保全活動として、MGVユニットピアささやま、府民の森ひよし森林倶楽部、由良川ピオトープ、庵戸山保全活動、社内「共存の森」保全活動等を実施。

その他クリーン活動として、毎月第4水曜日に長田野工場周辺で空き缶やタバコの吸殻、ゴミ拾い等を実施しています。

緊急事態への準備と対応

少量危険物貯蔵所(有機溶剤)の訓練計画

有機溶剤を運搬作業中に誤って路上に落下させ漏洩した時に、雨水口に有機溶剤が流れ、河川に流出する事故を防止する為に、事故を想定した模擬訓練を実施。

溶剤運搬時の容器転倒による漏れ対策

第一ステップ

1. 転倒した容器からの漏洩を出来るだけ止める。
2. 流入した雨水口の出口を土嚢で囲い、流出を阻止する。
3. 保安監督者に通報する。

第二ステップ

1. 保安監督者の指示で吸着マット及び土砂に吸着させる。
2. 環境管理責任者に事故状況、処置を報告する。